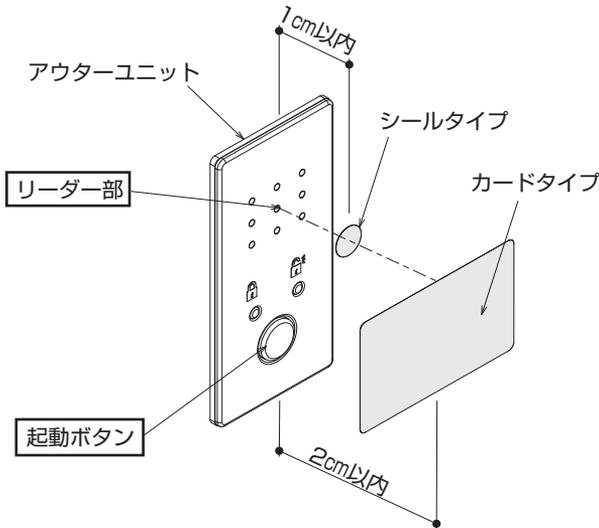
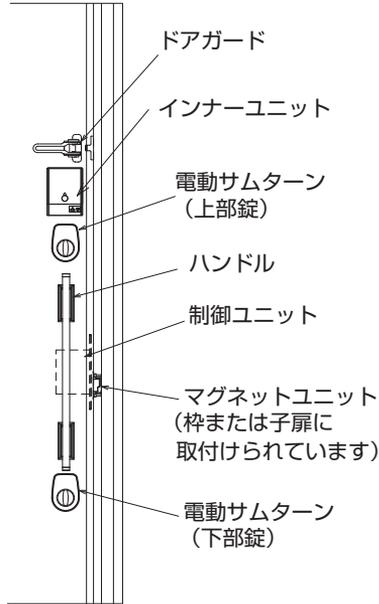
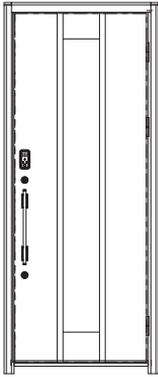


1. ピタットキー(カード・シールタイプ)は起動ボタンを押し、カードまたはシールをリーダー部へかざすことにより、電動サムターンが作動し、室外側からの施錠または解錠ができます。
また、電動サムターンでの手動による施錠、解錠もできます。
2. 上側の錠と下側の錠の2ロックで施錠、解錠を行います。
万一、ピタットキー(カード・シールタイプ)が破損・故障した場合でも鍵は使用できます。
3. 電子音、LEDランプで作動状態をお知らせします。
4. カード・シールタイプ合わせて最大20枚まで追加登録することができます。
標準でカードタイプは3枚、シールタイプは2枚付属していますが、それ以上必要な場合は別売で用意しています。
5. ピタットキーの作動範囲はアウターユニットのリーダー部表面から
カードタイプ：約2cm、シールタイプ：約1cmの平行面以内です。

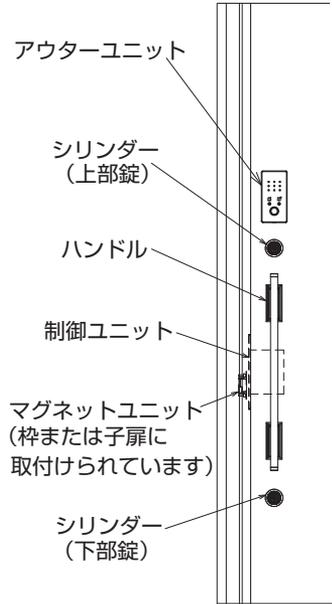


6 各部の名称

玄関ドア

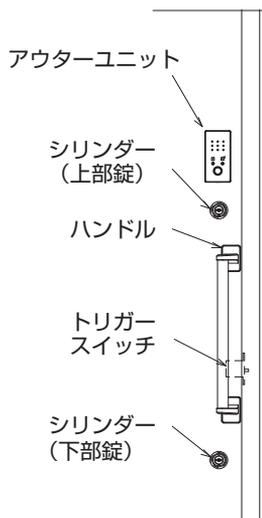
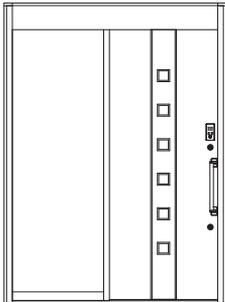


室内側

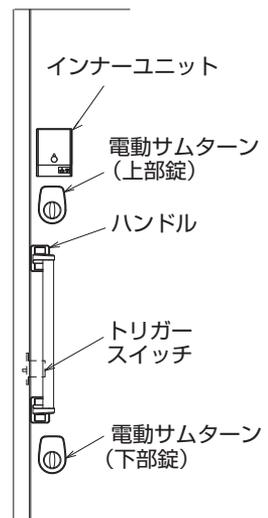


室外側

スライディングドア



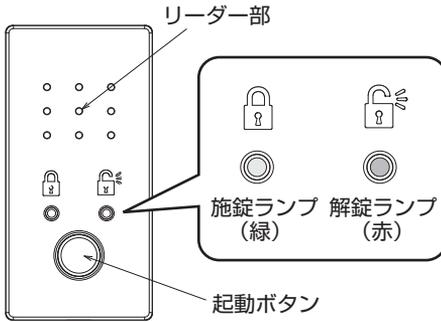
室外側



室内側

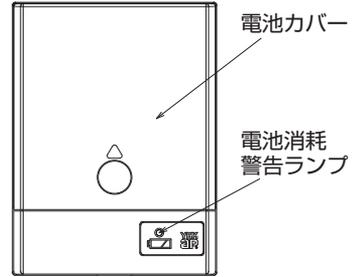
〈受信機・表示機各部〉

アウターユニット



室外側

インナーユニット



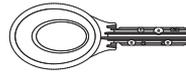
室内側



カードタイプ
(3枚)



シールタイプ
(2枚)



鍵

ピタットキー(カード・シールタイプ)は、YKK APホームページ上から直接購入できます。

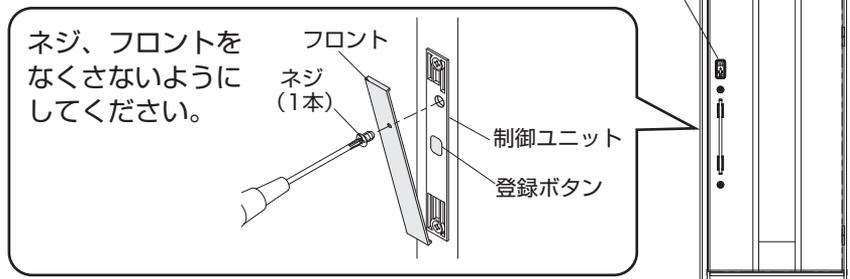
<http://parts.ykkap.co.jp/shop/>

シールタイプは、貼付ける前に登録確認を行ってください。
シールタイプの貼付け (P.12)をよく読んでください。

①登録する全てのピタットキーを手元に準備してください。

②ドアを開き、フロントのネジをはずし、
フロントを取りはずしてください。

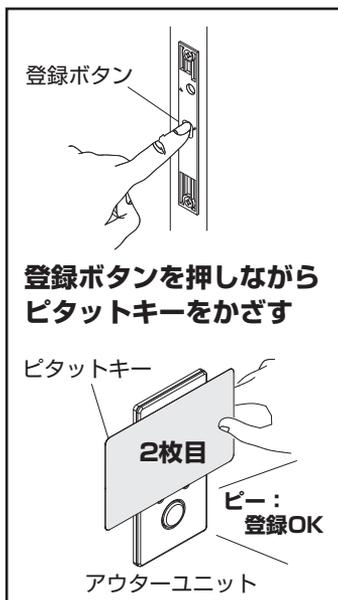
※ドアを開いた状態で行ってください。



③登録ボタンを押し続けながら (赤ランプ点灯)、リーダー部に
全てのピタットキー (カード・シールタイプ) を順番にかざしてください。



2枚目



3枚目以降



繰り返す

ピタットキーの持ち替え等で登録ボタンから手を離す場合は、
10秒以内 (赤ランプ点灯中) に登録ボタンを再度押す

登録ボタンを離して10秒経過すると赤ランプが消灯し、
登録モードが終了します。

(P8 登録のつづき)

状態	登録状況	考えられる原因
「ピー」と音が鳴り 緑ランプが2秒間点灯	登録OK	—
「ピーピーピー」と音が鳴り 緑ランプが3秒間点滅	登録NG	<ul style="list-style-type: none"> ●1枚目の登録前に登録ボタンから手を離れた(音のみ) ●すでに登録済のピタットキーをかざした ●21枚目をかざした

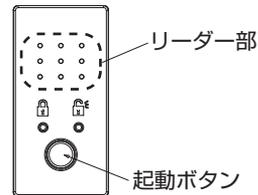
④登録後、登録確認を行ってください。 鍵を携帯して行ってください。

ドアを閉じて全てのピタットキー(カード・シールタイプ)の登録確認をしてください。

起動ボタンを押してカードをかざします。

施錠・解錠ができる →登録OK

施錠・解錠ができない
(ピーピーピーと鳴る) →登録NG



1枚でも施錠・解錠ができないピタットキー(カード・シールタイプ)がある場合は、**すべてのピタットキー(カード・シールタイプ)を再度登録**してください。

⑤ ドアを開き、フロントを取付け、ネジで固定してください。

※**フロントの下側を引っ掛ける**ようにして取り付けてください。

■追加登録

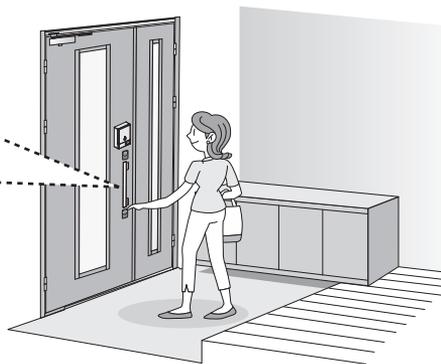
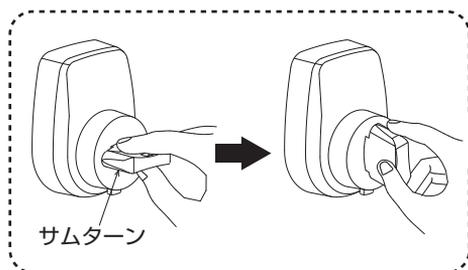
追加のみの登録はできません。

すでにお使いいただいているピタットキー(カード・シールタイプ)と追加登録したいピタットキー(カード・シールタイプ)全てを登録してください。

10 施錠・解錠方法

外出時（解錠）

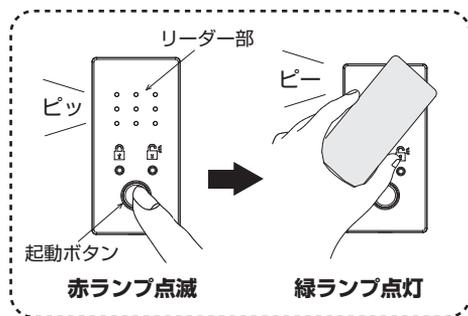
2箇所の電動サムターンを手動で解錠します。



- ※片側解錠後、もう片側の電動サムターンを5秒以内に解錠してください。（5秒以上経つと片掛かり防止機能が働き、施錠状態に戻ります。）
- ※上部錠・下部錠も解錠状態にしたあと、ドアが開かないと10秒後に施錠される（誤作動防止機能）ため、もう一度解錠操作を行ってください。

外出時（施錠）

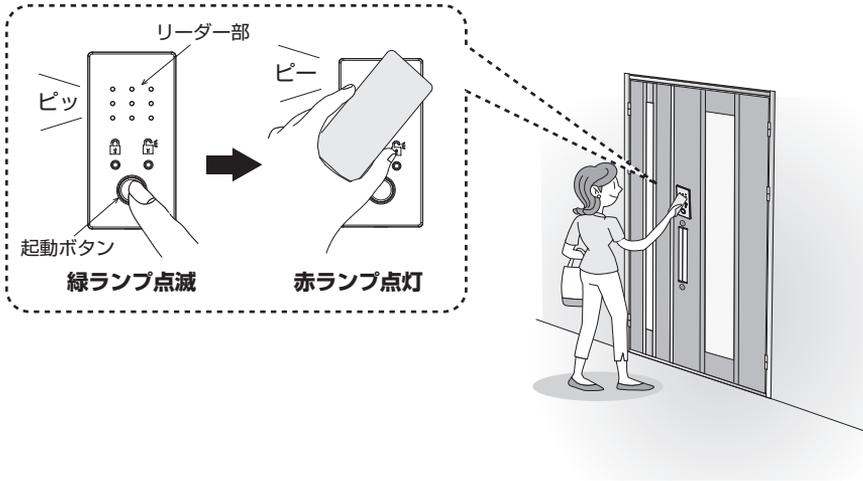
起動ボタンを押し、赤ランプが点滅している間にピタットキー（カード・シールタイプ）をリーダー部にかざすと施錠されます。



不測の事態に備えて、必ず鍵も携帯してください。

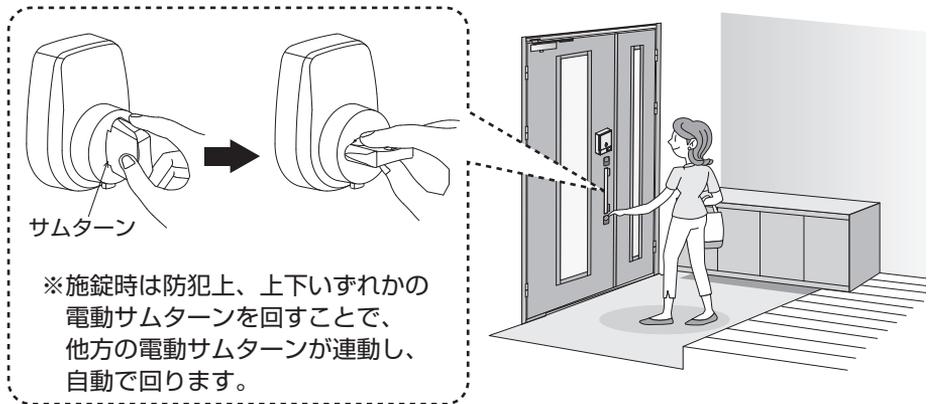
帰宅時(解錠)

起動ボタンを押し、緑ランプが点滅している間にピタットキー(カード・シールタイプ)をリーダー部にかざすと解錠されます。



帰宅時(施錠)

電動サムターンを手動で施錠します。



※施錠時は防犯上、上下いずれかの電動サムターンを回すことで、他方の電動サムターンが連動し、自動で回ります。

室内側からのピタットキー(カード・シールタイプ)による施解錠はできません。

自動施錠への切替えは有償対応です。(P.14参照)

12 シールタイプの貼り付け

シールタイプはお手持ちのモノに貼ることで、玄関の鍵になります。但し、貼り付ける際は以下の注意をお守りください。

お願い

- シールタイプは乳幼児の手の届くところに置かないでください。乳幼児が誤って飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んでしまった場合は、医師にご相談ください。
- シールタイプに他のものがぶつかったり、押し付けられるような場所への貼り付けはお避けください。シールタイプが破損する事があります。



シールタイプは貼り付ける前にセロハンテープなどで仮固定し、施錠・解錠操作の確認を行ってください。一度貼り付けてから再度貼り付けなおすと、接着力が弱くなり、はがれるおそれがあります。

貼り付ける場所

- ・ 平滑な平面に貼付けてください。
- ・ 金属物には貼らないでください。
- ・ 表面が非金属であっても直下に金属・電子基板があるものに貼らないでください。
- ・ 他の非接触カードに貼らないでください。
別のIDが登録されるおそれや、混信による動作不良の原因になります。

貼り付け方法

- ・ 油脂・汚れを除去してください。
メガネ拭き紙などでふくなど、特に、油分を除去してください。
- ・ 剥離紙をはがして貼り付けてください。
- ・ 貼り付ける際、粘着面に触れないようにしてください。
皮膚がかぶれるおそれがあります。
- ・ 粘着材に触れた場合はせっけんでよく手を洗ってください。
- ・ 貼り付けた後はシールを指で強く押し、接着面を密着させてください。
きちんと貼り付くようにしてください。
- ・ その後1日はシールに力がかからないようにし、放置することが望ましいです。

■ 鍵・電動サムターンでの施解錠



電池錠のモーター作動中(サムターンの動きが停止して、1秒以内)に鍵やサムターンを動かすと、機能しません。

〈連動施錠〉

上部錠・下部錠とも解錠状態の時、どちらか一方を鍵または電動サムターンで施錠するともう一方も連動し、施錠されます。

※解錠時の場合は、鍵または電動サムターン操作では連動しません。

上部錠・下部錠共に解錠願います。

〈片掛かり施錠防止機能〉

上部錠・下部錠とも施錠時、どちらか一方だけを鍵または電動サムターンで解錠にすると5秒後に施錠されます。これは、ピッキング防止のための機能です。

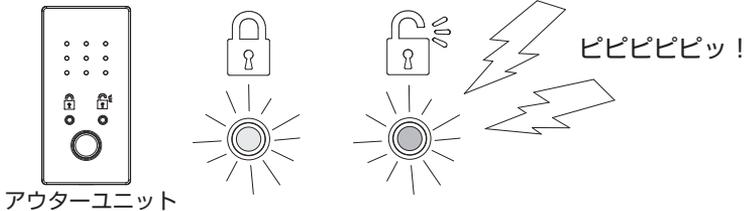
〈誤操作防止機能〉

上部錠・下部錠とも解錠にした時、ドアが開かないと約10秒後自動的に施錠されます。

■ 施解錠動作に異常が発生した場合

作動中に施錠あるいは解錠できなかった場合、電子音が「ピピピピッ！」と5回鳴り、その後アウターユニットの赤色・緑色ランプが同時に5秒間点滅し、異常を知らせます。

(※ロックが錠受けへ確実におさまっているか確認し、場合によっては建付調整を行ってください。)



アウターユニット

■ 電動脱着サムターン

電動脱着サムターンは下部のボタンを押して取りはずしができます。

外出時、就寝時等に取りはずしておくとも万一ガラスを割られても手で解錠できません。

※取りはずしたサムターンツマミは、紛失しないようご注意ください。

※取り付けの時、施錠時は横、解錠時はたて向きに差し込んでください。



取りはずしボタン

■自動施錠

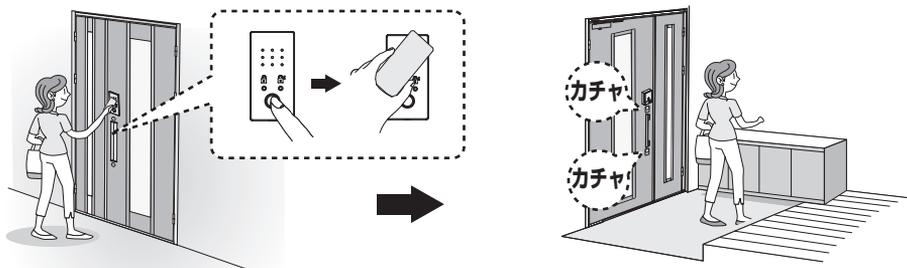
お願い

工場から出荷された状態では自動施錠モードではありません。

自動施錠モードへの切替えは、有償対応になります。

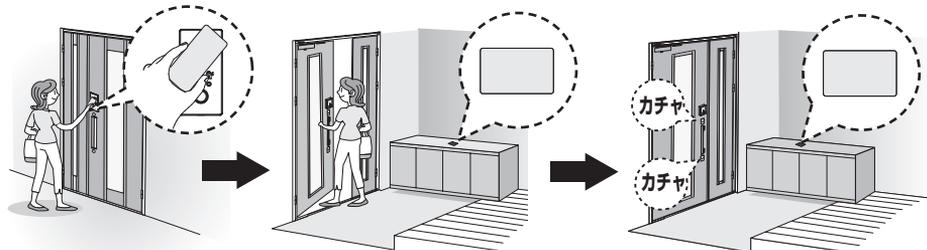
お取扱いの建築会社様、工務店様または、販売店様にご依頼ください。

ピタットキー(カード・シールタイプ)をかざして室内に入り、
ドアを閉めると2ロックが自動施錠されます。



一読 自動施錠による閉め出しに対するご注意

- ピタットキー(カード・シールタイプ)で解錠した後、ドアを閉めると自動施錠が働きます。解錠直後は、ピタットキー(カード・シールタイプ)を室内に置いて外に出てドアを閉めないでください。自動施錠され、入れなくなります。



ピタットキーで解錠

ピタットキーを室内に
置いたまま外へ

自動施錠(閉め出し)

- 鍵やサムターンで解錠した場合は、自動施錠されません。ピタットキー(カード・シールタイプ)で解錠した場合でも、扉を25秒以上開いたままにすると自動施錠されません。
- 不測の事態に備えて、必ず鍵も携帯してください。

電池交換時期

約1年(1日10回操作)で電池交換が必要になります。

※20℃での試験値になります。電池交換時期は、使用頻度や使用環境により異なります。特に寒冷地など低温時は電池寿命が短くなります。

電池消耗時、下記の操作を行った時にピピピピピピッ！(7回)と音が鳴り、室内側のインナーユニットの電池消耗警告ランプが点滅し、お知らせします。

- 電動サムターンを手動で操作した場合
- カードタイプまたはシールタイプで操作した場合
- 鍵でシリンダー操作した場合

※電池消耗警告が発生した際は、速やかに電池交換願います。

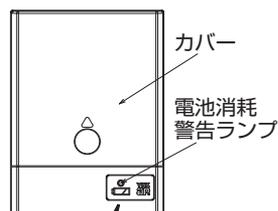
※電池消耗警告発生後、カードタイプまたはシールタイプによる施錠・解錠および手動操作による連動施錠を合わせて約100回の操作が可能です。

最終的にカードタイプまたはシールタイプによる解錠操作または手動操作による連動施錠を行った後、電気的に操作できなくなります。

連動施錠を除く手動操作(鍵での施解錠、電動サムターンの手動施解錠)はできます。

※新品の電池に交換されるまで、電池消耗交換警告は継続します。

インナーユニット



電池の交換方法

使用電池……**パナソニック 単3形エボルタ乾電池 4本**

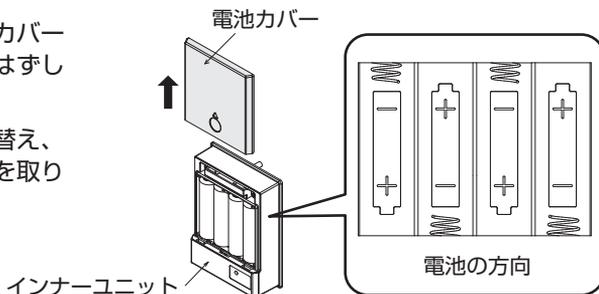
※エボルタ乾電池を推奨します。エボルタ以外のアルカリ乾電池を使用した場合、低温下で電池寿命が短くなります。

※電池の極性(+/-)を逆に入れないでください。

※濡れた電池を使用しないでください。また、新しい電池と古い電池、メーカーや種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。

電池の液漏れ・発熱・破裂のおそれがあります。

- ①インナーユニットの電池カバーを上を上げ手前に引き、はずしてください。
- ②電池を所定の方向で入れ替え、
①と逆操作で電池カバーを取り付けてください。



■錠側

- 1) 使用電池 …………… LR6EJ/LR6系単3乾電池 4本
(**パナソニック エボルタ/アルカリ乾電池**)
- 2) 電池寿命 …………… 約1年(施解錠を1サイクルとして10回/1日)
※20℃での試験値になります。設置環境によって
はこの限りではありません。
(エボルタ以外のアルカリ乾電池を使用した場合、特に
低温時には電池寿命が短くなります。)
- 3) 電波法区分 …………… 誘導式読み書き通信設備
- 4) 使用周波数 …………… 13.56MHz
- 5) 登録可能ID数 …………… 最大 20
- 6) 使用可能温度範囲 …………… -10℃~60℃ (凍結なきこと)
- 7) 使用可能湿度範囲 …………… 15%~85%以下(結露なきこと)

■カード側

- 1) カード規格 …………… ISO15693
- 2) 使用周波数 …………… 13.56MHz
- 3) 使用可能温度範囲 …………… -10℃~50℃
- 4) 保存温度 …………… 0℃~50℃
- 5) カード寿命 …………… 使用回数10万回
- 6) データ保存期間 …………… 7年(0℃~40℃)

■交信性能

- 1) 読み取り距離 …………… アウターユニットリーダー部表面から
カードタイプ：2cm以内、シールタイプ：1cm以内
(設置環境により交信性能は変動します。)

本紙上で使用する「エボルタ」はパナソニック(株)の登録商標です。